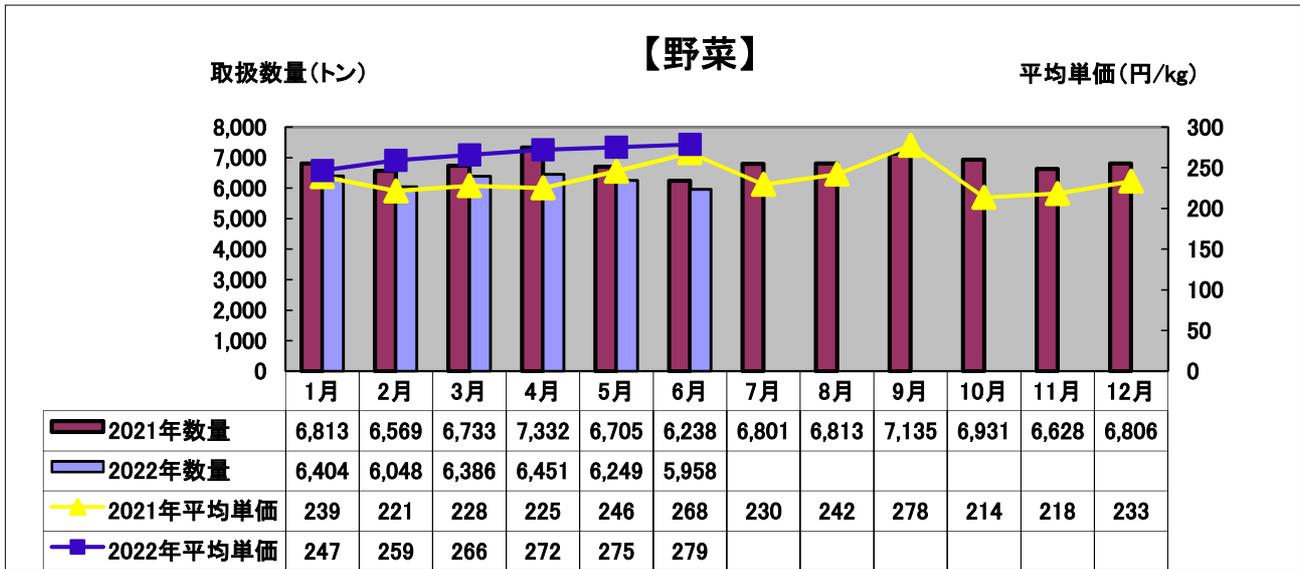
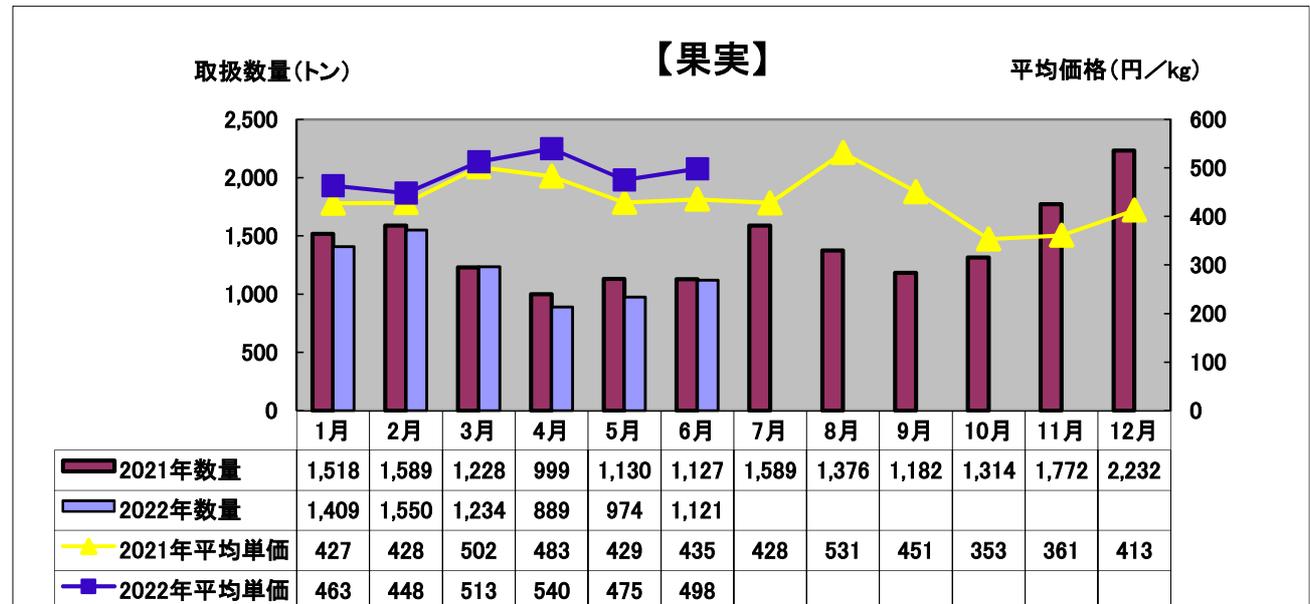


## 令和4年(2022年)6月 青果部 種類別市況



6月の野菜類は、前半は天候が安定せず、総体的に不作での推移となったが、下旬には天候・気温ともに安定し夏秋物が増加しました。数量はやや減少し、平均単価についてはやや高く推移しました。

前年比数量 96.5%、単価 103.9%で終了しました。



6月の果実類は、上旬は西瓜やメロンなど瓜類が着果不良かつ小玉傾向で数量減、単価高で推移していましたが、中旬以降に全国的な高温がで生育が早まり、主力である山形桜桃、山梨桃等の品目が前進出荷となったため全体的な数量は前年並みで推移しました。平均単価については、果実全般の相場が堅調に推移し、高く推移しました。